

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4170500146
法人名	有限会社 ティーム
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ
所在地	佐賀県伊万里市黒川町大黒川1393番地16 (電 話) 0955-20-7123

評価機関名	社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀市八戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	平成 21年4月2日	評価確定日	平成 21年4月30日

【情報提供票より】(平成 21年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 11 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	11.3 人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		900 円	

(4) 利用者の概要(平成 21年3月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	6 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	75 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小島病院 世戸医院 唐津第一病院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑に囲まれた自然豊かな環境の中に、木造2階建てが2棟並んで建つ2ユニットのグループホームである。塀のない広いオープンガーデンを有し、四季おりおりに変化する樹木や花々を楽しむことができ、ひなたぼっこや団らんの場所でもある。すぐ近くには小学校や幼稚園があり、子どもたちが気軽に立寄り入居者との交流もされている。入居者の役割意識が強く、食事後の食器拭き、調理用具の後片付けなどを、それぞれに自分の役割として取り組まれている。また、入居者の生活の技を活かして、共同作業で梅干漬け、ラッキョウ漬け、梅酒づくりをしたり、造花づくりをして作品展に出品するなど、楽しみごと、気晴らしの支援が積極的に行われている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価については、前回の結果を踏まえ、改善が必要な部分については管理者及び職員で話し合いをしながら取り組まれており、改善課題6項目のうち5項目について改善が見られる。「運営推進会議を活かした取り組み」については、引き続き改善に向けての取り組みが進められている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者はサービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全職員で話し合いをして、管理者が集約するという方法がとられている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>年に1回の開催で、グループホームの行事や出来事、入居者やサービス提供の状況等を報告して、意見をもらうなどの話し合いが行われている。今後は運営推進会議の意義を理解され、評価への取り組み状況についても報告して意見がえられるように図り、2ヶ月に1回の開催を目指して取り組まれるよう期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の意見、苦情、不安が気軽に伝えられるよう来訪時や「ひなたぼっこ便り」で問い合わせをするなど雰囲気づくりに努め、意見箱も設置されている。また、外部の苦情相談窓口でも表せる旨の説明がなされ、出された意見等は運営に反映されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームは地域の自治会に加入し、地域行事や新年会等に参加している。地域の「ふれあいステージ」にも参加し、同時に行われる作品展には入居者が作品を出品したり、たこあげ大会にも参加している。また、ホームの前がバス停になっているので近隣の人々と日常的に挨拶を交わしたり、声かけを合せて地域との交流が密に行われている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	チーム(仲間)スピリットをもって入居者を理解し、隣人として心広く尊敬する、「人格的交わりを主とし、愛と信頼に基づく自発的信頼関係を目指す」という会社の理念を持って、入居者と職員、地域との関わりを目指し、入居者の生活を支えるよう努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の教育の際や日々の話し合いの中で、管理者と職員は理念を確認し、その実現に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、回覧板で地域の行事の案内がある。地域行事や新年会等に参加している。地域の「ふれあい作品展」に入居者が作品を出品したり、たこあげ大会に参加もしている。また、ホームの前がバス停になっているので日常的に近隣の人々と交流ができています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者はサービス評価の意義や目的を全職員に伝え、自己評価は全職員で話し合いをし、管理者が集約している。外部評価の結果の改善課題について全職員で具体的な改善の方策を話し合い、改善に努めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議が設置され、各分野からの参加を得ている。生活リハビリに対する取り組み等を報告し、理解を得ている。しかし、年に1回の開催にとどまっている。	○	運営推進会議は、外部の人々の目を通してホームの取り組み内容や具体的な改善課題を話し合ったり、地域の理解と支援を得るための貴重な機会であり、2ヶ月に1回の開催が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームは、水害等対策や運営推進会議の開催方法等について市担当者と話し合いをするなど、行き来の機会を多く持たれており、市担当者と共にサービスの質の向上に取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	各棟ごとに2ヶ月に1回発行される写真入りの「ひなたぼっこ便り」に管理者が添え書きをして、入居者の暮らしぶりや健康状態、職員の異動等について報告を行っている。また、家族の来訪時には必ず近況報告をするよう努めている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見や不満、苦情が気軽に伝えられるよう到来訪時や「ひなたぼっこ便り」で問いかけをして雰囲気づくりに努め、意見箱も設置されている。また、外部の苦情相窓口でも表せる旨の説明がなされている。出された意見等は運営に反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット同士、普段より相互にあいさつをし合ったり、入居者の状態を共有し合って、馴染みの関係を築くよう努められており、入居者へのダメージを防ぐ配慮がなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員は段階に応じて法人内外の研修を受ける機会が確保されている。外部研修受講者は研修内容を職員研修会で報告している。新任職員の研修も実施されており、段階的に力をつけていけるよう実施されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、地域の同業者とのネットワークづくりが進められている。管理者、職員による相互訪問や意見交換等はすでに実施されており、サービスの質を向上させていく取り組みがなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得してサービスを利用できるように、利用開始前に試験的入居や見学をしてもらい、ホームの雰囲気を感じてもらうとともに、自宅等を訪問して入居者、家族の思いや要望を聞くなどして徐々に馴染んでいけるよう一人ひとりの状況に応じた対応がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者と生活をともにする中で、楽しみや悲しみなどさまざまな思いを共有し、入居者の長年培われた生活の技などを学んだりしながら、共に支え合う関係を築くよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者との会話や接する機会を多く持つことで、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、日々の行動や表情から汲み取りながら本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者がよりよく暮らすための課題とケアのあり方について入居者及び家族から要望等を聞き、会議を開催して職員全員で意見を出し合い、それらを反映した個別の介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に評価を行い、3か月毎に見直しを行っている。見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、入居者、家族及び職員で話し合い、実情に即した新たな介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者や家族の状況に応じて外出支援、通院介助など柔軟な対応が行われている。また、入居開始前の試験的入居や見学などを体験してもらいながら、自宅からホームへの緩やかな住み替えの支援等も行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者や家族の希望を大切にして馴染みのかかりつけ医で継続して受診できるよう支援している。入居者の通院には必ず職員が同行し、かかりつけ医とホームの関係を築き、情報の共有に努めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方についての方針が定められており、入居時に入居者や家族の意向を確認し、かかりつけ医等も含め関係者で方針を共有している。状態の変化があるごとに、家族の気持ちの変化や入居者の思いに注意を払いながら、話し合いを繰り返すようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ミーティング等で、入居者の誇りやプライバシーを損なうような対応や言葉かけをしないことを、全職員に徹底させている。個人情報についても、全職員に秘密保持の徹底が図られている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの体調に配慮し、その日その時の気持ちを尊重して、それぞれのペースで過ごせるよう個別性のある支援が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえ、盛り付け、配膳など、入居者の個々の力を活かして職員と一緒に準備し、一緒に食事を楽しみ、後片付けも共にしながらさりげない介助が行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者一人ひとりの希望に応じて、毎日でも入浴できる準備体制がとられている。入浴の時間帯や長さは、その日の希望や体調を確認しながら、入浴が楽しめるよう支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の役割意識が強く、食器拭き、調理用具の後片付けなどを日々の自分の役割として取り組まれている。また、共同作業で梅干漬け、ラッキョウ漬け、梅酒づくりをしたり、地域の「ふれあいステージ」に出す作品づくりなど、楽しみごとや気晴らしのための支援が積極的に行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には、入居者の希望に応じて、季節を肌で感じてもらい、心身の活力につながるように、戸外の散歩の同行やドライブなどの外出支援が行われている。ホームのオープンガーデンではいつでもひなたぼっこや団らんができる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全職員は日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解し、気配りや見守りによるケアが実践されている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、年2回防災訓練及び避難訓練を実施している。また、地域の人々の協力を得られるよう働きかけが行われている。水害対策については市担当課との話し合いによる対応策が検討されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を毎日チェック表に記録し、全職員が情報を共有している。低カロリー、減塩を必要とする人もおり、一人ひとりの状態に応じた支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い居間は明るく静かで、ソファーや椅子などが置かれて思い思いに過ごせるよう配慮されている。入居者の手作りの造花、絵や季節の花などが随所に飾られ、家庭的で季節感が漂っており、居心地よく過ごせるよう工夫がこらされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には使い慣れた家具や馴染みの品が持ち込まれ、居心地よく過ごせるようそれぞれにレイアウトされて個性的な居室になっている。		